

開催報告

Vol.10 「つなぎ、ひろがる図書館」

開催日：令和5年2月22日（水）18時30分～20時30分

会場：別府市役所5F大会議室

参加人数：28人

プレゼンター：伊万里市民図書館副館長 末次健太郎氏

図書館フレンズいまり 犬塚まゆみ氏（元図書館長）

松尾文子氏（「てんとうむしの家」代表）

1 伊万里市民図書館の取り組み

はじめに、伊万里市民図書館の新図書館の建設を契機に、市民と図書館がどのようにつながり互いに育て合ってきたか、そのプロセスについて、犬塚氏からお話しいただいた。先進的な図書館の見学や「図書館づくり伊万里塾」での勉強会など、図書館のあり方を共に考え、開館への準備を進めていくことが「図書館フレンズいまり」の発足にもつながった。

松尾氏からは、「図書館フレンズいまり」が現在行っている活動、図書館やボランティア団体を支える仕組みについて、写真を交えて、分かりやすくご紹介いただいた。

最後に、末次氏から「本と人を結びつける」だけでなく、「人と人を結びつける」ことへも図書館の役割が広がっていることについて、実践事例と共にご報告いただいた。コロナ禍では「チャットd e 読書会」など、手法における新しい試みの導入が紹介され、変化していく図書館の姿が参加者に共有された。

「図書館フレンズいまり」

- 目的：協力と提言
- 組織
代表 副代表 会計
- 会員数：350名
- 5つの委員会
(インフォメーション
美化、広報、イベント
フレンズコーナー)
- 資格：図書館を愛する人ならどなたでも
- 会費：年1,000円
- 年間予算：80万円
- 主な収入源：会費と事業収入



図書館フレンズいまり



美化委員会 プランターの花を植え替え

てんとう虫の家



市民図書館 創作室での作業（週1回の活動）

市民図書館の取組について

図書館を支えているのは、

「市民の力」

一方で、ボランティアが活動できる
「場と機会の提供」により、
主役である市民の「生きがい」を創出

市民や地域を支え、育てるのは、

「図書館の力」

2 グループ形式での意見交換

その後、6つのグループに分かれて、ワークを行った。まずは、個人で「図書館を使って他の人と一緒に行く具体的な活動のアイデア」を考え、続いてグループで「活動によってどんな良い効果が生まれるか」、「図書館には活動を支えるために何をして欲しいか」を意見交換した。各グループにはプレゼンターや市職員も加わり、活発な意見交換が行われた。

最後のグループごとの発表では、「図書館をまち歩きのポイント地点とする」、「誰でもツアーができる図書館ツアーを行う」など具体的な活動のアイデアとともに、「色々なグループが利用することで新たな出会いが生まれる」、「ヒト・モノがつながる図書館によって、学びの連鎖、知のスパイラルが生まれる」など活動の効果や図書館に期待する役割が共有された。



3 まとめ

中学生、大学生、社会人、高齢者と多世代にわたり、また障がいのある方も複数ご参加いただいた。そのため、グループワークでは、様々な立場から活動のアイデアを出し合い、意見交換することができた。

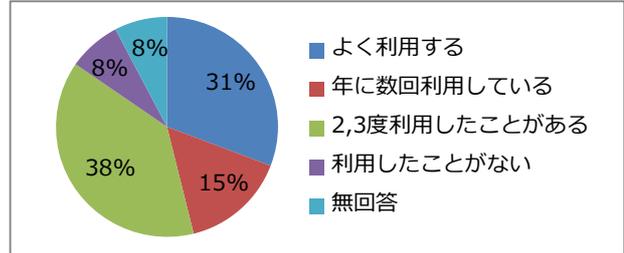
市民が主役となって行う活動とそれを支える図書館の将来像を共に描く良い契機となった。

別府市新図書館等整備事業 オープンプラットフォーム会議vol.10 アンケート

参加者28名うち回答者26名（回答率93%） ※自由回答は原文をそのまま掲載しています。

1. 現在、別府市の図書館を利用していますか？（該当項目の1つに☑）

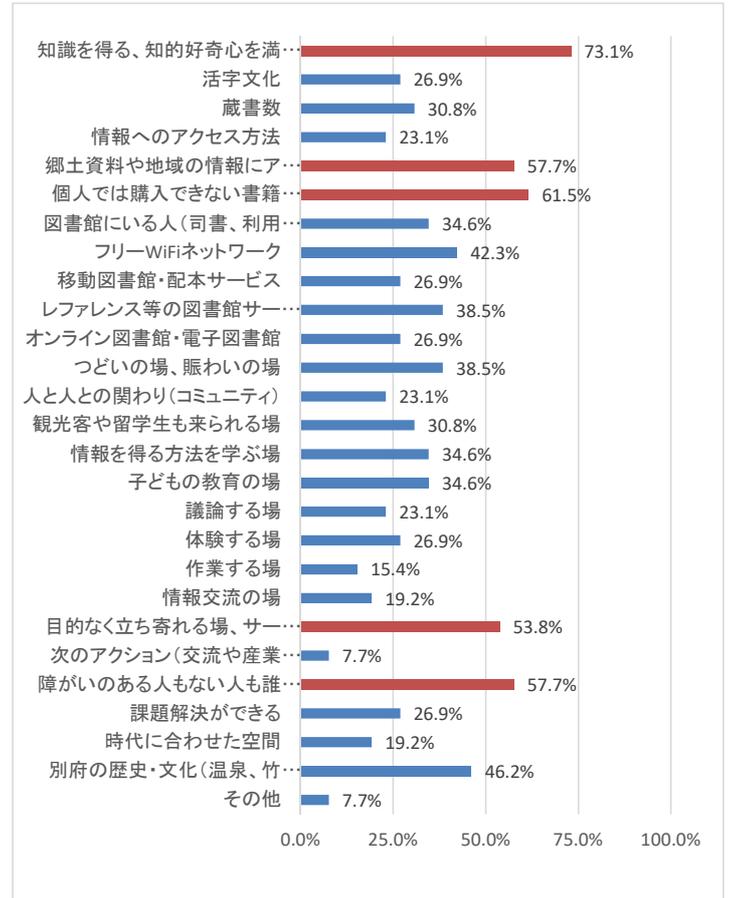
項目	回答数	%
よく利用する	8	30.8%
年に数回利用している	4	15.4%
2,3度利用したことがある	10	38.5%
利用したことがない	2	7.7%
無回答	2	7.7%
小計	26	100.0%



- ・利用したことのある人の割合が多かったが、利用頻度は様々だった。
- ・一方「利用したことがない」人も1割弱を占め、今は利用していない人からも新しい図書館への関心がうかがえる。

2. あなたが新しい時代に図書館に求めるものは何ですか。（複数回答可）

項目	回答数	%
知識を得る、知的好奇心を満たす	19	73.1%
活字文化	7	26.9%
蔵書数	8	30.8%
情報へのアクセス方法	6	23.1%
郷土資料や地域の情報にアクセスできる	15	57.7%
個人では購入できない書籍やデータベース	16	61.5%
図書館にいる人（司書、利用者）	9	34.6%
フリーWiFiネットワーク	11	42.3%
移動図書館・配本サービス	7	26.9%
レファレンス等の図書館サービス	10	38.5%
オンライン図書館・電子図書館	7	26.9%
つどいの場、賑わいの場	10	38.5%
人と人との関わり（コミュニティ）	6	23.1%
観光客や留学生も来られる場	8	30.8%
情報を得る方法を学ぶ場	9	34.6%
子どもの教育の場	9	34.6%
議論する場	6	23.1%
体験する場	7	26.9%
作業する場	4	15.4%
情報交流の場	5	19.2%
目的なく立ち寄れる場、サードプレイス	14	53.8%
次のアクション（交流や産業など）を生む場	2	7.7%
障がいのある人もない人も誰でも利用できる場	15	57.7%
課題解決ができる	7	26.9%
時代に合わせた空間	5	19.2%
別府の歴史・文化（温泉、竹細工など）がわかる	12	46.2%
その他	2	7.7%
回答者数	26	



<その他>

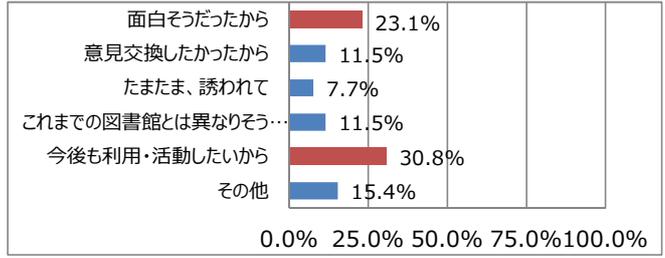
- ・別府の郷土や歴史等の学びが出来ることが大切だと思います。
- ・知的好奇心を伸ばす、高める場そして楽しく過ごせる場、人とつながる場

・「知識を得る、知的好奇心を満たす」が7割以上と最も多く、次いで「個人では購入できない書籍やデータベース」「郷土資料や地域の情報にアクセスできる」「障がいがある人もない人も誰もが利用できる場」「目的なく立ち寄れる場、サードプレイス」が5割以上を占めた。

・そのほか、別府の歴史を知り、学びができる場であることも求められている。

3. 今回のオープンプラットフォーム会議に参加した理由はなんですか？（該当項目の1つに☑）

項目	回答数	%
面白そうだったから	6	23.1%
意見交換したかったから	3	11.5%
たまたま、誘われて	2	7.7%
これまでの図書館とは異なりそうだったから	3	11.5%
今後も利用・活動したいから	8	30.8%
その他	4	15.4%
回答者数	26	100.0%



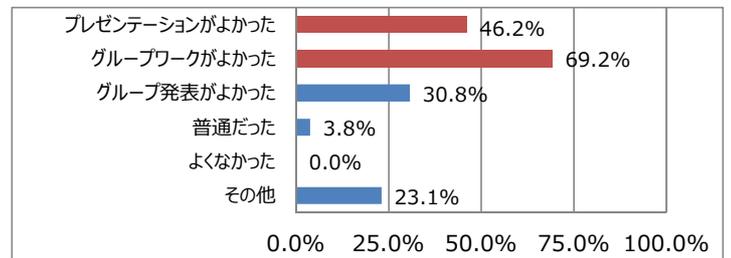
<その他>

- ・伊万里図書館について詳しくお聞きしたかったから
- ・伊万里市民図書館の取り組みの話を知りたかったから
- ・障がい者の事業所で働いています。知的なハンデのある人も重度の人もすぐせる場にしたいため
- ・障がいがある人が出席した方がいいと思ったから

- ・「今後も利用・活動したいから」が最も多く、次いで「面白そうだったから」が多かった。
- ・伊万里市民図書館の取り組みへの関心や障がいのある側からの意見表明の必要性を感じたことも参加の理由となった。

4. 今回のオープンプラットフォーム会議はいかがでしたか？（複数回答可）

項目	回答数	%
プレゼンテーションがよかった	12	46.2%
グループワークがよかった	18	69.2%
グループ発表がよかった	8	30.8%
普通だった	1	3.8%
よくなかった	0	0.0%
その他	6	23.1%
回答者数	26	



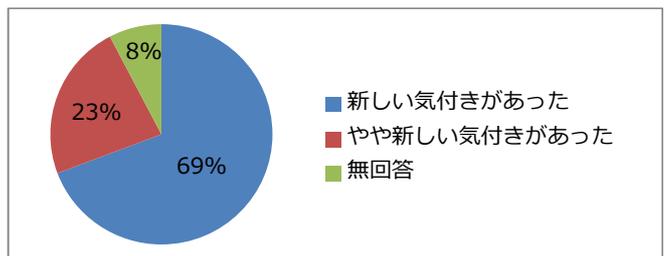
<その他>

- ・伊万里市の活動
- ・議論が新図書館を生む。
- ・様々な年代のお話を聞いて、また普段聞けない話を聞いたのがすごくよかった。
- ・ゲストの講演、グループで知らない方とも話すのはドキドキでしたが楽しかったです。
- ・市役所の職員の方が1人入り、サポートして下さることで、気軽に意見を述べられる雰囲気が出てよかったと思う。
- ・色々な分野の方の意見がきけた。

- ・「グループワークがよかった」が7割程度と最も多く、次いで「プレゼンテーションがよかった」も4割以上を占めた。
- ・伊万里市の取り組みを学べたこと、さらにグループで意見交換できたことに対する満足感が高かったことがうかがえる。

5. 今回のオープンプラットフォーム会議で、新しい気付きがありましたか？（該当項目の1つに☑）

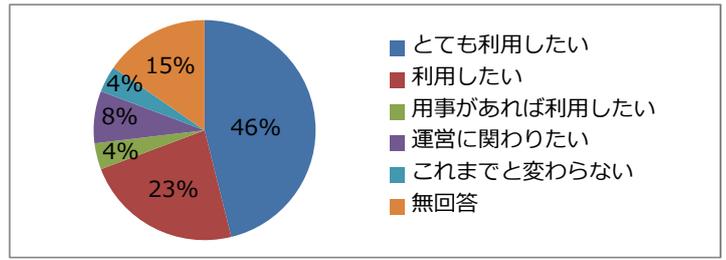
項目	回答数	%
新しい気付きがあった	18	69.2%
やや新しい気付きがあった	6	23.1%
とくになかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	2	7.7%
回答者数	26	100.0%



- ・「新しい気付きがあった」「やや新しい気付きがあった」を合わせて、9割を超えた。
- ・多くの参加者にとって、これまで見落としていたこと、気付いていなかったことに気付くきっかけとなった。

6.本日参加されて、これから図書館を利用してみたいと思いませんか？（該当項目の1つに☑）

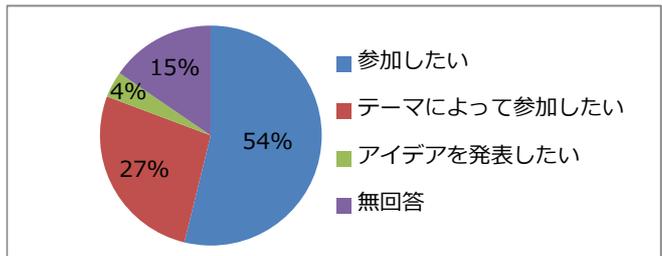
項目	回答数	%
とても利用したい	12	46.2%
利用したい	6	23.1%
用事があれば利用したい	1	3.8%
運営に関わりたい	2	7.7%
これまでと変わらない	1	3.8%
無回答	4	15.4%
回答者数	26	100.0%



・「とても利用したい」「利用したい」を合わせて、7割弱の参加者に利用意欲の向上が見られた。

7.今後もオープンプラットフォーム会議に参加したいですか？（該当項目の1つに☑）

項目	回答数	%
参加したい	14	53.8%
テーマによって参加したい	7	26.9%
アイデアを発表したい	1	3.8%
その他	0	0.0%
無回答	4	15.4%
回答者数	26	100.0%



・「参加したい」が半数を超えた。
 ・これを機に、新しい図書館への関心や参加意識が高まったと考えられる。

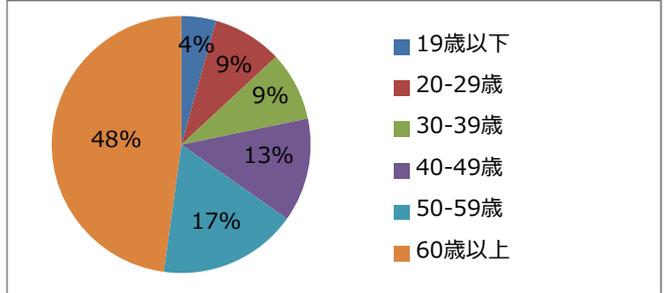
8. その他、新図書館整備事業やオープンプラットフォーム会議に対するご意見等、ご自由にご記入ください。

- ・伊万里では市民の意見を聴きながら設計したとのこと。別府市でも。
- ・福祉喫茶のアイデアを生かせないか、伊万里のように。
- ・オープンプラットフォームであればもっと自由に発言できる場であってほしい（時間のことも含めて）。
- ・伊万里の活動とボランティア、図書館フレンズのようにブースを設置して、活動の拠点を作ってほしい。
- ・歴史資料館、自然博物館の先進的活動をしてほしい。
- ・豊富な知見を学ばせていただきました。
- ・市内にせめて4ヶ所程度の分館が必要。なぜなら「地域交流の促進」「高齢者の来館が無理なため」。
- ・熱心な手話通訳のお二人に感動しました。障がい者の読書の手伝いができたらいいなと思います。
- ・毎回参加していますが、ようやく市民目線での内容になって来ました。今後も図書館にかかわっていきたいと思います。有難うございました。図書館フレンズいまりの方々のお話大変参考になりました。
- ・図書館に行く人の視点で話したい。
- ・参加できて、市の行政の方々が共に図書館を創っていかうとしていらっしゃる感じることができました。これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございます。
- ・立場のちがう人たちから見た図書館への新しい気付きがあった。
- ・私が…したいという気持ちでこれからも応援したい。
- ・持続可能なエネルギーで作ってほしい。
- ・障がいのある人に対して配慮のある建物（設備）にしてほしい。
- ・グループワークが楽しかった。
- ・多くの市民が新しい図書館のあり方に期待していること、また従来の既存のアイデアだけでなく新しいアイデアを考えていることに大きなポテンシャルを感じた。実行は難しさを伴うだろうが、実現すれば、他の都市にないステキなアイデアも多くあった。是非、有用で斬新な意見を精査し、時間をかけても良いアイデアを実行していただきたいと思う。また、今回の参加者には図書館についての進捗状況の報告等のフォローアップをして下さると、お互いの信頼関係の構築にもなるのではないかなと思う。
- ・ボランティアガイドをやっています。ガイドコースに図書館を組み込めればと思っています。別府温泉の展示があると案内しやすいです。別府の昔からの絵図がたくさんあります。展示して下さい。子供や別府市民も楽しめるガイドコースができそうです。

10. あなたの年齢・性別・居住地を教えてください。(該当項目の1つに☑)

年齢

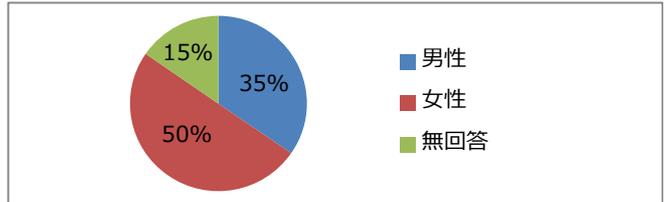
項目	回答数	%
19歳以下	1	3.8%
20-29歳	2	7.7%
30-39歳	2	7.7%
40-49歳	3	11.5%
50-59歳	4	15.4%
60歳以上	11	42.3%
無回答	3	11.5%
小計	26	100.0%



・60歳以上が半数近くを占めたが、それ以外にも多様な世代からの参加があった。

性別

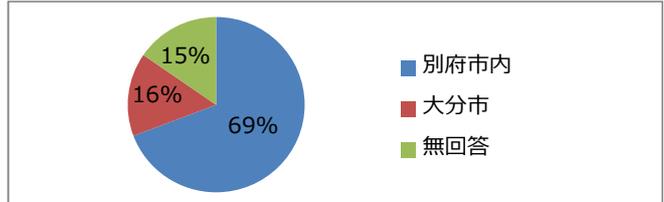
項目	回答数	%
男性	9	34.6%
女性	13	50.0%
無回答	4	15.4%
小計	26	100.0%



・男性より女性ほうが多かった。

住所

項目	回答数	%
別府市内	18	69.2%
大分市	4	15.4%
無回答	4	15.4%
小計	26	100.0%



・7割程度が市内からの参加者だった。